



2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月6日

上場会社名 フロイント産業株式会社
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 若井 正雄

TEL 03-6890-0750

四半期報告書提出予定日 2020年10月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	7,043	3.3	251		271		183	
2020年2月期第2四半期	6,817	25.2	3	99.4	6	99.1	7	

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 88百万円 (%) 2020年2月期第2四半期 108百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	10.98	
2020年2月期第2四半期	0.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	17,525	12,997	74.2	776.21
2020年2月期	18,505	13,243	71.6	790.94

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 12,997百万円 2020年2月期 13,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		20.00	20.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	6.1	1,000	79.1	1,000	71.6	700	83.5	41.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料10ページ(4)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	18,400,000 株	2020年2月期	18,400,000 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	1,655,480 株	2020年2月期	1,655,480 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	16,744,520 株	2020年2月期2Q	16,744,520 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント)	11
3. その他	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、4～6月期の実質GDPが前期比年率△28.1%とリーマン・ショックを上回る大幅なマイナス成長となるなど、大きな減速を余儀なくされました。5月25日の緊急事態宣言全面解除により、経済活動再開の動きがみられておりますが、感染再拡大への警戒から感染拡大抑制と経済活動維持のバランスを模索する展開の中で、経済回復のペースは緩やかになっています。

また、世界経済についても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と、その抑止のための厳格な措置により、各国の経済活動が大幅に縮小しましたが、経済活動維持と感染拡大抑制の両立模索の局面に入っていることから、緩やかながらも景気回復に向かっています。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られております。また、ジェネリック市場においても、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し、成長が鈍化することが予想されています。

このような事業環境のもと、当社グループは、当期2021年2月期を初年度とする第8次中期経営計画(2021年2月期～2023年2月期)をスタートし、お客様、新製品、グローバル、成長などをキーワードに新しく以下の7つの経営目標を掲げました。

- ①グループ連携
- ②完全顧客視点
- ③イノベーション重視
- ④グローバル経営
- ⑤成長戦略の実行
- ⑥業務改革と働き方改革の推進
- ⑦コンプライアンス／コーポレートガバナンスの重視

この経営目標を推進することにより、個別の市場環境に影響されにくい経営体質を構築し、当期は、連結売上高178億円、連結営業利益10億円の達成を目指して、グループ一丸となって活動しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は70億43百万円(前年同期比3.3%増)、米国子会社が米国政府によるコロナ対策の補助金約2.1百万ドルを受け取ったこと等により、営業利益は2億51百万円(前年同期は3百万円の営業利益)、経常利益は2億71百万円(前年同期は6百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億83百万円(前年同期は7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により輸出案件の一部に出荷の遅れが発生したものの、売上は堅調に推移し、売上高、営業利益とも増加となりました。

この結果、売上高は41億25百万円(同4.1%増)、セグメント利益は2億55百万円(前年同期は1億19百万円のセグメント損失)となりました。

・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、一部の製品について納入時期が第3四半期以降にずれ込んだ影響もあり、売上高、営業利益ともに減少となりました。

また、食品品質保持剤は、新型コロナウイルス感染拡大により、お土産やデパートでのお菓子の売上が低迷した影響を受け、売上高、営業利益とも減少となりました。

一方、健康食品の受託においては、ユーザーの在庫積み増し需要により、売上高、営業利益とも増加となりました。

この結果、売上高は29億17百万円(同2.3%増)、セグメント利益は2億28百万円(同40.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億79百万円減少し、175億25百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金が4億29百万円、仕掛品が79百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が10億6百万円、電子記録債権が2億31百万円、商品及び製品が94百万円、機械装置及び運搬具等を含む有形固定資産のその他(純額)が71百万円減少したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億33百万円減少し、45億28百万円となりました。増減の主な要因は、前受金が5億11百万円増加したものの、電子記録債務が7億39百万円、支払手形及び買掛金が5億16百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億46百万円減少し、129億97百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が1億51百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ4億29百万円増加(前年同期は5億3百万円の減少)し、47億43百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は9億77百万円(前年同期は2億89百万円の増加)となりました。これは、仕入債務の減少11億92百万円の減少要因があったものの、売上債権の減少12億11百万円、前受金の増加5億29百万円、減価償却費1億96百万円等の増加要因によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1億71百万円(前年同期は4億14百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億6百万円等の減少要因によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は3億66百万円(前年同期は3億59百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払3億33百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2020年4月24日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,314,123	4,743,190
受取手形及び売掛金	5,013,789	4,007,400
電子記録債権	417,513	185,925
商品及び製品	647,754	553,280
仕掛品	1,390,426	1,469,563
原材料及び貯蔵品	1,013,444	1,033,871
前払費用	139,944	148,312
その他	261,804	188,754
貸倒引当金	△5,471	△5,268
流動資産合計	13,193,328	12,325,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,418,559	1,425,587
土地	1,231,252	1,180,672
その他(純額)	1,560,069	1,488,269
有形固定資産合計	4,209,880	4,094,529
無形固定資産		
ソフトウェア	19,811	19,034
その他	76,270	71,270
無形固定資産合計	96,081	90,304
投資その他の資産		
繰延税金資産	208,497	213,407
その他	802,939	807,722
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	1,006,036	1,015,729
固定資産合計	5,311,999	5,200,563
資産合計	18,505,327	17,525,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,324	1,237,952
電子記録債務	1,367,537	628,369
短期借入金	32,829	—
未払法人税等	61,729	110,086
前受金	775,289	1,286,568
賞与引当金	237,693	197,911
役員賞与引当金	6,000	15,500
その他	788,516	805,348
流動負債合計	5,023,920	4,281,736
固定負債		
退職給付に係る負債	165,114	161,555
資産除去債務	31,683	46,414
その他	40,661	38,582
固定負債合計	237,458	246,552
負債合計	5,261,378	4,528,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,964,299	11,813,246
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,516,050	13,364,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,680	18,996
為替換算調整勘定	△298,749	△399,132
退職給付に係る調整累計額	12,967	12,443
その他の包括利益累計額合計	△272,101	△367,691
純資産合計	13,243,948	12,997,305
負債純資産合計	18,505,327	17,525,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	6,817,515	7,043,727
売上原価	4,400,935	4,779,948
売上総利益	2,416,580	2,263,779
販売費及び一般管理費	2,413,308	2,012,694
営業利益	3,271	251,084
営業外収益		
受取利息	3,406	292
受取配当金	6,144	5,615
受取技術料	3,154	4,039
受取補償金	—	3,183
その他	7,201	12,790
営業外収益合計	19,907	25,920
営業外費用		
支払利息	151	279
為替差損	16,276	4,496
その他	630	927
営業外費用合計	17,058	5,704
経常利益	6,120	271,301
特別利益		
固定資産売却益	9,997	4,237
投資有価証券売却益	2,200	—
特別利益合計	12,197	4,237
特別損失		
減損損失	203	—
固定資産売却損	—	4,697
固定資産除却損	210	4,534
投資有価証券評価損	750	—
特別損失合計	1,163	9,231
税金等調整前四半期純利益	17,154	266,307
法人税等	24,896	82,469
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,741	183,837
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,741	183,837

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,741	183,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,622	5,316
為替換算調整勘定	△84,482	△100,382
退職給付に係る調整額	△568	△523
その他の包括利益合計	△100,672	△95,590
四半期包括利益	△108,414	88,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,414	88,247

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,154	266,307
減価償却費	177,037	196,160
減損損失	203	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,276	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,021	△39,601
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,000	9,500
受取利息及び受取配当金	△9,550	△5,907
支払利息	151	279
為替差損益 (△は益)	15,715	744
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,997	459
有形固定資産除却損	210	4,534
売上債権の増減額 (△は増加)	513,823	1,211,311
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,028,562	△50,597
その他の資産の増減額 (△は増加)	△78,116	73,059
仕入債務の増減額 (△は減少)	170,886	△1,192,928
前受金の増減額 (△は減少)	783,652	529,802
その他の負債の増減額 (△は減少)	△97,763	15,182
その他	△1,050	△8,053
小計	393,494	1,010,253
利息及び配当金の受取額	9,550	5,907
利息の支払額	△151	△279
法人税等の還付額	19,469	—
法人税等の支払額	△132,565	△46,663
その他	—	8,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,797	977,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△440,928	△206,860
有形固定資産の売却による収入	17,926	52,796
有形固定資産の除却による支出	△201	△2,037
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△2,209
資産除去債務の履行による支出	—	△4,700
投資有価証券の取得による支出	△1,143	△1,776
投資有価証券の売却による収入	4,200	—
保険積立金の解約による収入	9,661	—
差入保証金の差入による支出	△1,449	△28,729
差入保証金の回収による収入	147	21,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414,788	△171,881

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△32,160
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△25,398	—
リース債務の返済による支出	△1,820	△1,214
配当金の支払額	△332,440	△333,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,658	△366,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,202	△9,641
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△503,851	429,067
現金及び現金同等物の期首残高	5,534,431	4,314,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,030,580	4,743,190

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大により、機械部門においては装置の出荷の遅れ、化成品部門のうち品質保持剤事業においては、テーマパークやデパートの営業自粛を受けたお菓子等の販売低迷による売上減少の影響を受けております。

今後、新型コロナウイルス感染症による影響は、2021年2月期末に向けて徐々に収束に向かうとの仮定のもと、固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,964,804	2,852,711	6,817,515	—	6,817,515
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,964,804	2,852,711	6,817,515	—	6,817,515
セグメント利益又は損失(△)	△119,964	382,440	262,476	△259,204	3,271

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,204千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機械」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失203千円を計上しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	米国(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
5,329,792	757,822	235,980	210,217	283,703	6,817,515

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 中南米……………ブラジル等

(2) 欧州 ……………フランス、英国等

(3) その他……………アジア等

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,125,972	2,917,755	7,043,727	—	7,043,727
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,125,972	2,917,755	7,043,727	—	7,043,727
セグメント利益	255,922	228,548	484,471	△233,386	251,084

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△233,386千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	米国(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
5,803,123	401,651	119,800	199,469	519,681	7,043,727

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、英国等
- (3) その他……………アジア等

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	5,311,232	81.5	6,705,850	126.3

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	6,846,714	109.8	7,330,154	107.1

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	3,964,804	58.2	4,125,972	58.6
化成品部門	2,852,711	41.8	2,917,755	41.4
合計	6,817,515	100.0	7,043,727	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。